誰も知らない三八の魅力！

魅力発見！！繋がる三八

活気ある三八地域を支えているのは
やっぱり、人の心でした

38
Real Style Project

私たちが見つけた三八のいいところをお届けします！

CONTENTS

事業
04 member　38 リアルスタイルリポーター
05 support

業界
06 - 09　卸売・流通業
10 - 13　情報通信業
14 - 15　鉄工業
16 - 17　港湾運送業
18 - 21　地域振興
22 - 25　研究開発
26 - 27　行政

暮らし
28　地域に根ざした暮らし
29　オンとオフのバランス
30　ストレスフリーな三八ライフ
31　engineer' s lifestyle
32–33　食から始まる三八への愛

プロジェクト
34　プロジェクトについて
35 - 37　活動内容
38 - 39　魅力共有会

38★ Real Style Project

「地元も悪くないな・・・！」「帰ってくるのもいいかも！」

都会に憧れて県外に出たいとばかり思っていたけれど
このプロジェクトをとおして地元の魅力を知ることが出来ました。
私たちが知った地元の良いところをみなさんにも知ってほしいです。

38リアルスタイルリポーター

業界・企業

CONNECT

HOC 株式会社 共同物流サービス

ASMARQ

MONEX

タカセイ 株式会社 高橋製作所

八戸港湾運送株式会社 Hachinohe Kowan Unso Kaisha,Ltd.

静岡屋

八食センター

TACHIBANA machine industry co.,ltd

東北三吉工業株式会社 Tohoku Miyoshi Industry CO.,LTD.

テレ8 八戸IT・テレマーケティング未来創造協議会

APAMAN

八戸メタルパーク 八戸鉄工団地協同組合

青森県港湾運送事業協同組合

YEG Hachinohe

青森産技 あおもりの未来 技術でサポート

SEISHIN

以上 20 社のご協力により活動を実施しました。

72 社を統括し、東北の物流、商流のライフラインを担っています。

～ 人、物、地域を繋ぐ ～ 協同組合 八戸総合卸センター

団体名	協同組合 八戸総合卸センター
業　種	卸売・流通業
所在地	八戸市卸センター 1–12-10
TEL	0178-28-0311
URL	http://www.hoc-net.jp/

「八戸総合卸センターの設立経緯」

高度経済成長と車社会の到来により発生していた「店舗・倉庫の狭隘化」「交通渋滞の慢性化と交通規制強化」という共通課題に対応し、経済効率を高め、流通機能の強化を図る事を目的に設立されました。

「ロゴマークについて」

左の縦の棒から順に、人、物、地域、
2 本のななめの棒でこの 3 つをつなぐ
ということを表しているそうです。
会館の名前の HOC コネクトのコネクトや
スローガンである「共益ささえる公益つなげる」
にもつなぐという言葉が使われていて、
周辺地域の方々や関わってくれる方などと
繋がろうという意味が込められています。

楢山日彩

「八戸総合卸センターの取り組み」

72 社を統括する八戸総合卸センターでは、従業員のより良い労働環境確保のため、多くの取り組みを行っています。その 1 例として、毎月 10 日に行うゴミ拾いや草取り等の清掃活動や優秀な人材教育のための定期的な研修等があげられます。また毎月各企業から 1 人を招いての昼食会を催し、意見交換をしたり要望を聞いたりする時間を設けることで、より円滑に職務を果たせる環境を作っています。

桑野早恵

「HOC こどもの森保育園」

八戸総合卸センターでは女性社員の声をもとに、組合員企業の従業員向けに企業主導型保育園としてセンターの敷地内に設立しました。組合員、八食センター、市中央卸売市場の従業員が利用する「共同利用枠」と、一般の方も利用できる「地域枠」を設けていて、一番の特徴は「病後児保育」の専用スペースがあり、病気や怪我の回復途中にある 1 歳から小学 6 年生までの地域の子どもを預けることができます。
子育てをしながら働くのに、とても心強いなと思いました。

谷内陽香

越後美南

私達のグループは、大学生 2 名と高校生 2 名の計 4 名で活動を行いました。最初は上手くコミュニケーションをとることが出来ませんでしたが、このプロジェクトを通して、年齢関係なくお互いに助け合いながら、どのグループにも負けないくらい仲良く、楽しく参加することができました。

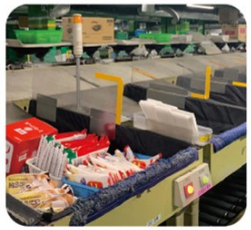
～三八の暮らしを支える～

企業名　株式会社 吉田産業　八戸支店
所在地　八戸市卸センター 2-3-30
TEL　0178-20-3111
URL　https://www.yoshidasangyo.co.jp/

「強みを生かして」

吉田産業は東北を中心に活動していて、約 800 人が働く「建設資材・生活機器の総合商社」です。一般住宅等に関わる資材・工事を扱う「住宅部門」。学校や病院、ビル等に関わる資材・工事を扱う「建築部門」。道路や橋梁、公園整備等に関わる資材・工事を扱う「土木部門」の３つの部門にわかれています。各部門が高い専門性を持ち、それぞれの強みを生かして幅広い事業展開をしています。

企業名　株式会社 共同物流サービス
所在地　八戸市卸センター１-13-１
TEL　0178-28-8670
URL　https://www.jointlogistics.co.jp/



「共同物流センターの主な仕事」

各店舗へ納品する商品の保管管理、発注情報に基づく商品の仕分け、商品の各店舗への配達です。広い面積、充実した管理システム、多くの従業員の活躍のもと、毎日の出荷作業に取り組んでいます。また、女性の働きやすさや高齢化をふまえ、さまざまな重機やシステムを活用し、労働の負担を可能な限り減らしています。

38 リアルスタイルリポーターコラム ①

38 リアルスタイルリポーターが感じた三八地域の魅力

今回のプロジェクトで三八地域を調査してわたしたちはたくさんの魅力に出会いました！

① 自然が豊か

自然があって住みやすい
近場でリフレッシュできる

種差海岸

② 生活しやすい気候

夏はほどよい暑さ
冬は雪が少ない

左・夏の白浜海岸　右・冬の種差海岸
左・PHOTO / VISIT HACHINOHE

いちご煮も美味しい

③ 海の幸が美味しい

海が近く魚介が新鮮
誇れる漁獲量！！

八食センター
PHOTO / VISIT HACHINOHE

地域の人との距離が近いのも特徴

④ 集う場所が充実

はっち・マチニワなど
自由に集える場所

マチニワの「水の樹」

陸奥湊の朝市は朝の２時から

⑤ 早朝から元気

朝市が盛ん！
館鼻朝市は日本最大級

館鼻朝市

⑥ 食べ物や水が美味しい

さまざまな穀物や野菜を栽培
果物も美味しい

さくらんぼ農園
PHOTO / VISIT HACHINOHE

親孝行もしやすい環境！

⑦ 子育てがしやすい

親など頼れる人が近くにいて
子育てしながら働きやすい

交通の便もいい

⑧ 適度な田舎感

物価が安く
家賃も都会より安い

満員電車に乗らなくていいし
総合的にストレスが少ない

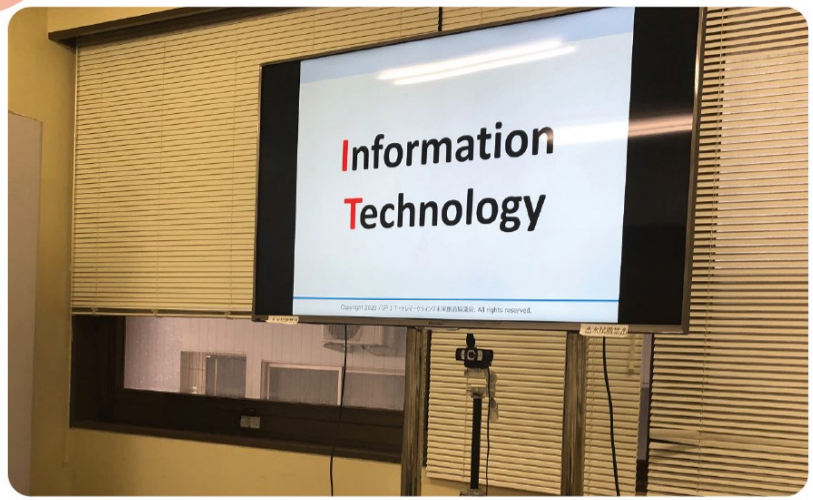
⑨ 人が穏やか

人の温かさを感じてる人が多い
交通マナーもいい

企業のみなさんに取材した「地域で暮らしながら働くことの魅力」についてまとめました。
進学等で県外に出ることを考えていますが、大人になると帰ってきたくなる魅力がたくさんあると感じました。

ITに関する企業を誘致しており、地域の情報技術産業を支えています。

～ 愛してるIT 私たちの街 ～　八戸IT・テレマーケティング未来創造協議会



団体名	八戸IT・テレマーケティング未来創造協議会
業　種	情報通信業
所在地	八戸市番町3 NCビル4階
TEL	0178-86-0803
URL	https://it-tele8.com/

相馬咲来

「設立経緯」

一般的にテレマーケティング業務といえばコールセンターのイメージがありますが、八戸に進出した企業の業務内容は多岐にわたり、地域における認知度や理解度が低い状況にありました。そこで、業界全体の知名度向上とイメージアップを図り、八戸の活性化を目指して、進出企業、市、青森県の協力をもとに設立されました。

「セキュリティーについて」

やはり情報を扱っているため、情報が漏洩することを防がなければなりません。そのため、協議会所属企業の一部は、携帯電話を仕事のときは、ロッカーの中に入れ、オフィス外に持ち出せないように工夫しています。また、会社で使っているUSBを持ち帰ってはいけない、など様々な工夫がなされています。
情報はIT関係の職場では重要なものなので、事故を事前に防いでいます。

沢村紋音

「つながり」

この協議会では人事交流会やマチニワ交流会を開催して各企業での働きやすさを向上しています。ほとんどの企業が街に近いところにあるため、仕事終わりにマチニワを貸し切って食べ物などを持ち寄り交流会を開くことができるというのが魅力です。交流会を開催することで職場が違う人とも交流できるためよりよい関係を築くことができます。

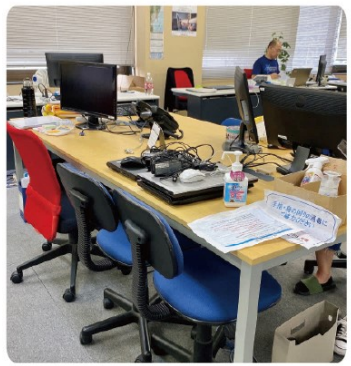
村上教花

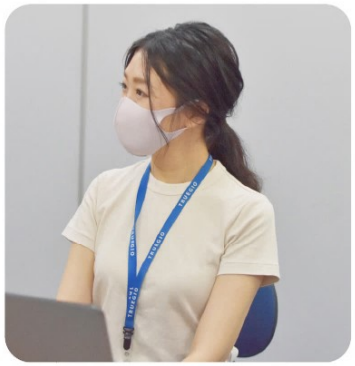
「八戸に支店をおく良さ、理由、待遇」

小村梨瑚

八戸は、東京から新幹線で乗り換えなしで来れるという交通の便の良さ、八戸の人の人柄の良さ、八戸の人の仕事に対する愚直さ、市民性に惹かれ誘致され、八戸の誘致企業になりました。協議会所属企業の一部は、産休育休がしっかり取れて女性に優しい働きやすいです。また、シフトを自由に組めたり、土日休みなどの企業もあり、働きやすい企業になるよう努めています。

小松由佳





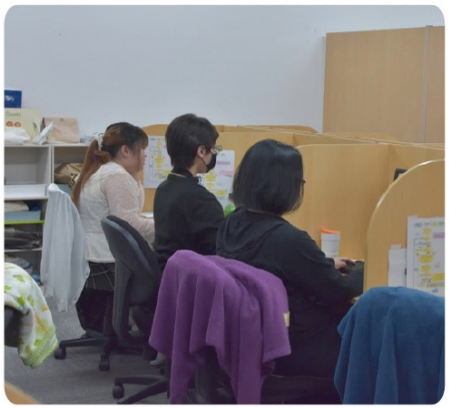
私たちは大学生１名、高校生４名で活動してきました。なかなか初めは、発言も消極的でしたが今では１人１人個性を出し合って積極的に発言し合い楽しく１つ１つ丁寧に取り組めることができました。このグループで活動していく中で、三八の魅力を知ることができました。

～情報と生きる～

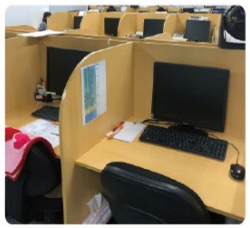
企業名　株式会社アスマーク　八戸事業所
所在地　八戸市三日町 2 青銀・明治安田ビル 8F
TEL　050-5865-8858
URL　https://www.asmarq.co.jp/

「設立経緯」

1998 年に D STYLEWEB という情報コミュニティーサイトの運営を開始し、2004 年 4 月、有限会社から株式会社マーシュへ。そこから徐々に事業所を増やし、2018 年、商号を株式会社アスマークへ変更。主なサービスとして、モニターリクルート業務、ネットリサーチ業務があり、アンケート画面の作成や、リクルート業務、集計作業などを行っています。

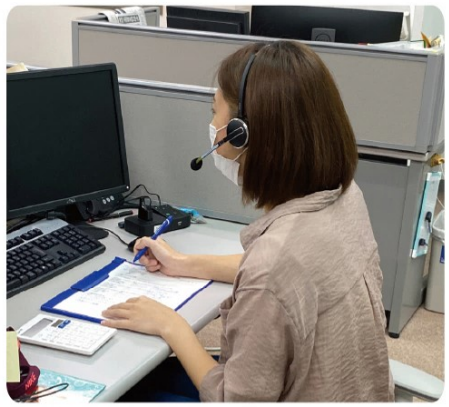


企業名　Apaman Network 株式会社 八戸 BPO センター
所在地　八戸市十三日町 1 ヴィアノヴァビル 5F
TEL　050-3816-9322
URL　https://apamanshop-hd.co.jp/

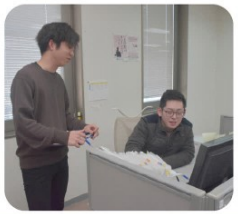


「女性の活躍」

交通の便の良さや人柄の良さから八戸に誘致されました。所長を除いた全ての社員が女性で、データの入力といった細かい作業を日々こなしています。そのなかでも、人事に関する仕事は特に重要な役割であり、正確で素早い処理能力が求められています。また、国家資格のある社員を中心に日々の私たちの生活を支えています。



企業名　マネックス証券株式会社
八戸コンタクトセンター
所在地　八戸市北インター工業団地 1-4-43
八戸インテリジェントプラザ
TEL　0178-21-2550
URL　https://www.monex.co.jp/



「最高級の窓口格付け」

マネックス証券とは名前の通り証券会社です。証券取引に関する問い合わせに電話で回答しています。2008 年に当初 15 名で八戸コンタクトセンターができ、現在八戸センターには約 80 名が在籍しています。現在の社長は女性で、男女関係なく活躍しています。また、HDI-Japan 問合せ窓口格付けで最高格付けの三つ星を獲得しています。

38 リアルスタイル 業界レポ ❶ ＼情報通信業編／

情報通信業の団体や企業を調査して
わたしたちが感じた特徴をまとめてみました！

～ 業界あるある ～

①間取りの空き物件、部屋探しをしてしまう
②他社のウェブサイトの良いところの発見
③普段の生活でアンケートがあるとその構成をチェック
④友達との会話でも言葉遣いが気になってしまう

＼結　果／

仕事と生活は密接に関係している！

この仕事に就いて、話し方が一番変った

どうやったら相手に誤解がないように伝わるのか
どうやって説明するのがわかりやすいか
常日頃から考えているそうです。

三八は漁業・農業だけでなく、工業も盛んです。

～ 高度な技術でより良い地域へ ～　八戸鉄工団地協同組合

団体名	八戸鉄工団地協同組合
業　種	鉄工業
所在地	八戸市河原木字浜名谷地 76-322
TEL	0178-28-3530
URL	http://www.hachinohe-metal-park.jp

三浦凛

「八戸鉄工団地の歴史」

江戸時代、南部藩は日本の鉄の二大産地であり、たたら製鉄法を行っていました。その後八戸は漁業が盛んになり、第二次世界大戦後には八戸に鉄工街三家が存在しました。そして、昭和 39 年八戸地区は新産業都市として指定され、2 年後の昭和 41 年、八戸鉄工団地協同組合が設立、八戸の鉄工業に大きく貢献してきました。

「利点と課題」

八戸鉄工団地が港の近くにある利点とは、大きな物を船で運ぶのに効率が良いそうです。また、埋め立て地を有効活用しています。そのため、八戸は鉄工業が盛んになりました。また、柳町さんのお話によると、八戸は非鉄金属などの材料を製造する工場はあるが、それを製品にする会社がないそうです。したがって、八戸の課題は、大手メーカーが製造している素材を使用して商品などを作る企業誘致が必要だとわかりました。

出河聡実

「インタビュー」

担当して下さった柳町邦夫さんは、組合員の業績が上がるようサポートできることが仕事のやりがいと感じているそうです。また、鉄工業の中にはいろいろな業種があるそうです。女性職員の中谷真由美さんにもお話をうかがいました。中谷さんは、仕事の幅が広くさまざまなことができることが仕事のやりがいと感じているそうです。これから鉄工業で起こることに柔軟に対応していくことが目標だそうです。

清水青空

～高い技術と信頼でお客さまのニーズに応える～

「高橋製作所について」

私たちは高橋製作所に取材に行きました。

高橋製作所は昭和 21 年に創業を始め、鉄を使った製品の設計や機械・製缶・組み立て加工、据付工事からメンテナンスなど、様々な事を行っています。大型機械に特化している高橋製作所は多くのクレーンやコンベヤーを扱う「鉄のなんでも屋」です。また、人材の育成などにも力を入れているそうです。

三浦凛

企業名	株式会社 高橋製作所
所在地	八戸市河原木字浜名谷地 76-344
TEL	0178-28-3035
URL	http://www.kk-takasei.jp/

トラックだけじゃない！！船で世界をつなぎます！

～ 八戸港は重要な拠点 ～　青森県港湾運送事業協同組合

団体名	青森県港湾運送事業協同組合
業　種	港湾運送業
所在地	八戸市河原木字海岸 10-3
TEL	0178-20-2321

鈴木結菜

「ナゼここに運送業？～八戸の運送業の意義」

八戸は海に隣接していて、船の往来が昔から盛んでした。また交通網も整っているため、この地域に運送業が発達したそうです。

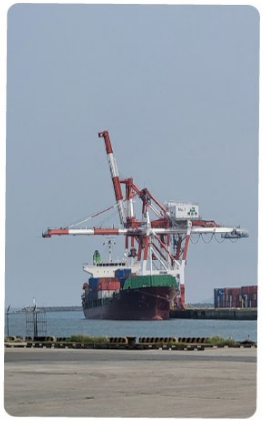
「運送業の仕事内容について」

海に面しているという利点から船から資源を運んできたり、高速道路が近いという利点から商品をトラックから運んだりしています。そのあと一定期間の保管の後に各地に運ばれています。フィリピンやニューカレドニアなど国外とのやり取りの方が多いそうです。
そのため、外国船とのやり取りをする人は英語が達者な人が多いです。

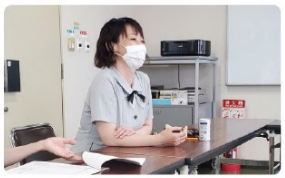
松橋明日香

「東日本大震災について」

東日本大震災の際には津波が本社に押し寄せ、車や道具など多くの物が流されました。その後、一致団結し、自衛隊や周囲の人々の力を借りて手作業で作業を行い、おおよそ２週間で完全復活を遂げました。この出来事以降、マニュアルや連絡網の作成、歩いて高台まで避難する避難訓練といった対策が施されています。



松橋明日香



「運送業で女性は輝ける？～女性の関わり～」

女性の会社員の方は船の荷役にかかった費用を書き込んだりパソコンに打ち込んだりしていて、なくてはならない仕事です。しかしながらたまに、男性の仕事に憧れるときもあるそうです。

鈴木結菜

～はこび、まもり、たすける～

「一日のタイムスケジュール」

朝８時に出勤し、12 時まで仕事をします。12 時から 1 時間はお昼休憩に入ります。お昼ご飯は、主にお弁当の人が多いですが、何人かと連れ立って外食することもあるそうです。お昼休憩が終わる 13 時から仕事を再開し、16 時まで働きます。仕事が 16 時に終わるため、自由に使える時間が多く、色々出来るのが美点だと思いました。

「ココだから出来ること」

外国船で資源を運び入れたり、高速道路を使って商品を輸送したりしています。一番取扱いが多い資源は、加工後にステンレスとなるニッケル鉱石です。扱っている業種は倉庫業だけではありません。貿易において様々な手続きを行なう通関業、代理契約によって損害保険会社を代理したり
媒介となったりする損害・生命保険など
も行なっています。

鈴木心優

企業名	八戸港湾運送株式会社
所在地	八戸市河原木字海岸 16-4
TEL	0178-29-3111
URL	http://www.hkowan.co.jp/

地域の経済を活性化させるために、事業の企画や運営を行っています。

～ 若者の力で地域の経済を盛り上げよう ～　八戸商工会議所青年部

団体名	八戸商工会議所青年部
業　種	地域振興
所在地	八戸市堀端町 2-3
TEL	0178-43-5111
URL	https://yeg.hi-net.ne.jp/

栃木美心

「49 歳以下の経営者の方々が集まり活動している青年部」

八戸商工会議所青年部は地域の経済発展のため、地域振興やビジネスにつながる事業、若手経営者等の育成のための事業などを行っている組織です。1987 年 (昭和 62 年) に設立され、八戸商工会議所会員事業所の満 49 歳以下の経営者又は後継者・幹部従業員で構成されています。会員数は 146 名 (令和 2 年 7 月時点) で、そのうち女性会員は約 1 割です。

「青年部ならではの強み」

時代に対する嗅覚が鋭くフットワークが軽いことです。ネットワークを最大限に活用して地域情報をいち早く捉え、必要な対応を即座に決断できるため、様々な活動を迅速に行なうことができるそうです。また柔軟性にも長けており、年齢制限によって組織内の代謝が良くなり事業のマンネリ化を防ぐことができます。

山田甘音

「八戸港カッターレース」

青年部が主体となっている事業の 1 つとして八戸港カッターレースがあります。この事業は海に親しんでもらい、八戸を PR するために開催しているそうです。また、市外からの参加者も多いため、開催することで飲食店や宿泊施設なども利用されて八戸の経済を活性化させることができます。最近では SNS を活用して参加を募集し、年々参加者が増加しているそうです。

菅野菜都

「青年部の考える今の八戸、これからの八戸」

現在の八戸には新事業にチャレンジする人が少なく、ラグジュアリーさとゴージャスさが足りないと考えているそうです。そのため、自然があり住みやすいという良さも残しつつ、すべての世代が楽しく暮らせる良い時代を次の世代に渡せるように活動したいそうです。
そして、キラキラ感のある八戸にしていきたいとおっしゃっていました。

大山華鈴

田中陽萌

「地域の未来を支える」

今回の取材では、向井誠仁さん、岡本信也さん、松橋里実さんの 3 名にお話を伺いました。地域の発展をサポートする八戸商工会議所青年部の皆様、お忙しい中ご協力誠にありがとうございました。

～Dashi と牛と八食と～

企業名　有限会社 静岡屋
所在地　八戸市湊町字新井田道 30-16
TEL　0178-33-1200
URL　http://www.sizuokaya.com/

「dashi の世界進出！」

静岡屋は八戸を代表する削り節屋です。代表取締役の金山さんは、挑戦なしでは進化なし、をモットーに日々挑戦し続けています。近年では海外進出もしており、現地に赴いて dashi の魅力を伝え、八幡馬形の鰹節削り器の販売などをしています。また、出汁に特化したお茶漬け屋などの専門店をオープンしています。

企業名　株式会社イチカワファーム
所在地　八戸市市川町字下大川端 52
TEL　0178-52-7710
URL　https://www.instagram.com/ichikawa.farm/

「イチカワファームのお仕事とこだわり」

イチカワファームさんでは、今秋デビューのオリジナルブランド牛『八戸毬姫牛』の飼育を行っています。約 1200 頭の雌の肉牛を飼育しており、毎日同じ肥料を同じ時間に同じ量与える、というこだわりを持っているそうです。また、牛の首輪に付けた装置によって牛の行動を分析、可視化し健康管理をするなど、最新技術の活用もされていました。

企業名　協同組合 八食センター
所在地　八戸市河原木字神才 22-2
TEL　0178-28-9311
URL　https://www.849net.com/

「昨日と同じ現場はない」

事務局ではイベント関係から建物や売り場の管理まで様々な仕事をするため、昨日と同じ仕事は無いのだとおっしゃっていました。故に毎日が刺激的で勉強の連続であり、常にやりがいや大変さを感じるのだそうです。また、やってきたお客様や出店者などの多くの方からの『ありがとう』を活力に日々働いているそうです。

38 リアルスタイル 業界レポ 2　＼ 地域振興編 ／

令和２年度、八戸商工会議所青年部は、
強みである機動力やネットワークを生かした
緊急支援プロジェクトを行いました。

はちのへ支援 Coupon のポスター

はちのへ支援 Coupon

新型コロナウイルス感染症により売上が減少した飲食店等を支援するために、市内で最も早く着手した青年部による支援事業でした。仕組みは、１枚 1000 円の前売りクーポンで 1100 円分使えるというものです。

売上が減少している店舗で販売することで
クーポン券販売による売上を運転資金にできる
という仕組みで、経営維持の一助となる事業です。
短期間に 52 事業所の登録があり、活用されたそうです。

ほかにも、市内事業所の経済支援となるような
活動を積極的に行なっています。

企業の製品の安全性の検査や新しい商品の開発を行っています。

～ 縁の下の力持ち～　地方独立行政法人 青森県産業技術センター 八戸工業研究所

団体名	地方独立行政法人 青森県産業技術センター 八戸工業研究所
業　種	研究開発
所在地	八戸市北インター工業団地1-4-43
TEL	0178-21-2100
URL	https://www.aomori-itc.or.jp/

杉本小槙

「工業の分野の幅広い仕事」

主な仕事内容は３つあります。１つ目は、企業から依頼を受けた製品の精密測定をすることです。振動を与える試験を行ったり、設計通りに加工できているか、ミクロレベルまで測定しています。２つ目は、研究、技術開発です。今あるものの改善に取り組んでいます。３つ目は、技術サポートです。他企業の相談に乗り、より良いものを一緒に作り出せるように頑張っているそうです。

榊あかり

「工業の機械化について」

製造現場の完全な無人化はまだ遠いようです。佐々木さんによると、機械より人間の手の方が精密で繊細なことが出来る場面が多いそうです。だから、この業界では優秀な技術者が必要とされています。また、機械化は人との繋がりを減らしてしまいます。工業に人間が携わることで、その周辺に店や施設が増え、人も増えます。工業は地域を形成する基盤の１つなのです。

大向さつき

「福利厚生の充実と働きやすさ」

働く時間を選択できます。また、休憩スペースがあったり育休の制度があったりと男女関係なく働きやすいです。工業の業界では育休を取得できる制度があり、さらに勤務時間を選択できる企業でした。ですが女性は事務職の方がほとんどでした。女性が必要とされていないというだけでなく、また、私達のような学生の年代が工業の仕事に触れる機会がないことも問題だと感じました。

寺下留美

「開発した製品や力を入れているプロジェクト」

青森県産業技術センターさんでは、塗装すると磁石がくっつくペンキや、医療現場のための wifi を切断できる部屋など、私たちの暮らしを便利にするための製品が沢山開発されています。また青森県内の技術の強みを活かした航空宇宙産業の振興と技術レベルの向上を測ることを目的とした青森県航空宇宙産業研究会の活動にも参加し、日本の航空宇宙産業の発展にも尽力しているそうです。

小笠原百香

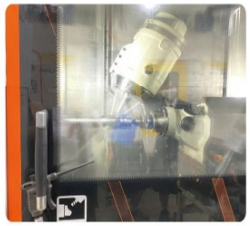
「工業愛と地元愛」

私たちは今回産業技術センターを見学して、地域の工業を陰で支える現場を生でみて縁の下の力持ちはまさにこのことだと思いました。また、今は工業の現場でも女性を必要としていることは私たちに可能性の夢を与えてくれました。今後もっと地域の工業が発展していくことを願っています。

私たちが工業を支えます！

～小さな部品が大きな一歩～

企業名　株式会社 橘機工
所在地　五戸町切谷内字菖蒲川下谷地 22-1
TEL　0178-68-2625
URL　http://www.t-kikous.com/



「橘機工の歴史」

1985 年創立で主に航空機に関係する金属部品などを製造している企業です。ホンダジェットのランディングギア、舵を取る為の部品などその生産は多岐に渡ります。元々は製材機械メンテナンス業だった橘機工は他にも自動車、ロボットシステムの開発にも携わっており、五戸を代表する会社です。

企業名　株式会社セイシンハイテック
所在地　八戸市桔梗野工業団地 3-5-50
TEL　0178-29-3300
URL　http://www.seishin-hightech.jp/

「戮力協心」りくりょくきょうしん

八戸市にある 1988 年に創業した会社です。そこでは、製品を造るための機械の部品を作っています。そして、作った部品の品質を確かめ、注文先のお客様のもとへ発送し届けます。また、戮力協心の行動方針の下、社員全員が協力してスムーズに作業ができるようにしています。セイシンハイテックでは女性は全体で 15 人が働いています。

企業名　東北三吉工業株式会社
所在地　五戸町豊間内字地蔵平 1-622
TEL　0178-62-2545
URL　http://www.tomiy.com/

「地域愛」

青森県五戸町にある企業です。昭和５２年９月１日に創業し、主に精密板金加工、大型製缶加工、真空装置生産ライン組立、塗装、ワイヤーカット超微細加工などを行なっています。五戸の工場の近くには東北三吉農園も営業しています。地域とのつながりを大切に、地域を愛し地域に愛されている企業です。

38 リアルスタイル リポーターコラム ②

38 リアルスタイル リポーターランキング

プロジェクトを通して感じた仕事を選ぶ時のポイントや三八地域の良いところをランキングにしてみました！

仕事を選ぶ時のポイントランキング

1 位　好きかどうか
2 位　やりがい
3 位　給料
4 位　福利厚生
5 位　社会貢献

仕事が「好きかどうか」と「やりがい」が上位になりました！暮らしのコーナーではやりがいや就職のきっかけ等も紹介しています！

三八地域の良いところランキング

1 位　地元愛
2 位　魅力再発見
3 位　人の温かさ
4 位　人との出会い
5 位　つながり

調査でお話を伺う中で、地元愛を感じました。人の温かさやつながりも、地元ならではの魅力だと聞き、都会にはない魅力を知ることが出来ました。

三八地域において様々な分野で活動するゼネラリスト。

～ 地域と密着！～　三八地域県民局

団体名　三八地域県民局
業　種　行政
所在地　八戸市尻内町字鴨田７
TEL　0178-27-5111
URL　https://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/shokuin/sa-kenmin.html

「地域県民局の担う役割」

市町村単位ではできないことに広域的かつ効率的に！デスクワークもさることながら、現場での仕事も多岐にわたる。三八地域で様々な分野において活躍する三八地域県民局では、市町村単位では限りがある事業について、広域的かつ効率的に活躍している。特に今回の取組を主宰されている地域連携部は各市町村と協力し地域づくりに関する施策の企画立案及び推進をしており、行政と民間との橋渡しや市町村の行政をサポートしている。

「直接取材を通した印象」

県民局の仕事について、１番の魅力は短いスパンで多岐に渡る業務に携わることができることだと思う。異動が多い、というのは色々なことにチャレンジできるということではないだろうか。多種多様な部門の取材を通して県民局の業務は地域と密着した、とてもやりがいのある充実した仕事だと感じた。

「地域に密着した各部署」

取材した中で１番印象に残る部署は、児童相談所でした。家庭内に介入した問題状況の解決を行う児童相談所のデリケートな業務内容は印象深かったです。土木業務に携わる地域整備部の方には活気ある分かりやすい説明をしていただきました。以前は携わる女性の数は少なかったが、YouTube での女性の雇用促進 PR などを通して女性の割合は増加しているということがわかりました。

「地域農林水産部で働く油川さん」

高校生の頃から生物が好きだった油川さん。今の時期は米や大豆の収穫、小麦の作付の指導などで忙しい。一番のやりがいは、業務の中で農家の方々に「油川さん」と名前を覚えてもらったり自分の農業指導が功を奏し感謝されることだ。業務が一番忙しい５～７月は剣道で鍛えた体力面がとても役に立っているそうだ。

「日々の業務」

油川さんの所属する農業普及振興室では、作物の栽培技術指導や農業経営のサポート、担い手の育成など、関係機関と連携しながら多岐にわたる業務を行っています。農業でも、起業、経営、地域活動など女性の活躍が目立っており、室長の大和山さんと油川さんは職場内でも女性職員が活躍していることを話してくれました。

部署名　三八地域県民局　地域農林水産部
所在地　八戸市尻内町字鴨田７
TEL　0178-27-5111
URL　https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/sa-nosui/

地域に根ざした暮らし

「ロボットの導入」

北川さんは、女性が働きやすい環境作りや社員の高齢化を踏まえ、積極的なロボットの導入が進められているため、労働の負担が軽く働きやすいと話していました。また、商品をトラックに積んだり下ろしたりする際には、各店舗の店員さんが棚出しをしやすいように、ワゴンへの並べ方やトラックへの積み方を工夫しているそうです。

「地域への恩返し」

今回取材させて頂いた３名の新入社員の方々は、全員青森から関東の大学に進学していました。そのまま関東圏に就職することも視野には入れていたそうですが、熟考の末最終的には生まれ育った地域に恩返ししたいという強い願いから、Uターン就職という形を選んだそうです。

共同物流サービス
営業企画課
北川さん

共同物流サービス
営業企画課
北川さんと
社員のみなさん

吉田産業
工事管理課
佐藤さん

吉田産業
施工管理課
石倉さん・田名部さん

「女性の働き方」

佐藤さんは現在、工事管理課に所属しています。将来は営業部で女性初と言われるようなことを成し遂げたい、そのために日常的に目標を持ち常に上を目指して頑張りたいと話していました。その姿を見て、目標を持って働く人はキラキラしてかっこいいなと思いました。現在は女性の人数が少なく営業をしている方は数えるほどしかいませんが、吉田産業では女性の活躍を推進しています。

「スポーツや地域行事への参加」

石倉さんと田名部さんは吉田産業のアイスホッケー部に所属していて、様々な大会に出場したり、毎年国体に出たりと活躍しています。仕事をしながらアイスホッケーでも地域に恩返しをしたいと生き生きと話していてかっこよかったです。他にも、スピードスケート部や自転車部などがあり、また三社大祭では唯一の企業山車として参加し地域に貢献しているそうです。

オンとオフのバランス

株式会社アスマーク
小林さん

「お休みの日の小林さん」

アスマークの取材を担当していただいた小林さんは軽米出身の美人さんです！お休みの日は、自分の部屋を掃除する綺麗好きでドライブにも行くそうです。趣味は音楽を聴くことで、いろいろなジャンルを知っていました。学生時代は吹奏楽部でトランペットを吹いていたそうです。大学に進学し、販売職などを経て今の会社で働いています。

「中村さんの休暇の過ごし方」

中村さんはスノーボードが好きで、毎週の休みにはスノーボードを楽しんでいるそうです。マネックス証券は誕生月の誕生日休暇や１年に５日間の連続休暇、育休も取りやすいため復帰率も97%超ととても高いです。休みに海外に行く人もいるようで、自分の趣味も楽しめる環境だなと思いました。

マネックス証券
株式会社
中村さん

Apaman Network
株式会社
篠原さん

「アイスホッケーづくし」

篠原さんは北海道出身で学生の頃からアイスホッケーを続けているそうです。氷都八戸ならではのアイスホッケーが身近にある環境が地元に似ていてとても気に入っています。八戸の過ごしやすい気候や人柄の良さにも魅力を感じているようでした。早朝は、アイスホッケーを習っている子供の送迎、休日はアイスホッケーのプロ選手の旦那さんの観戦とアイスホッケーづくしの生活を送っています。

「地元で働くことの魅力」

それぞれの企業を取材してみると、家族が近くにいるという安心感を魅力に感じているようでした。家族が近くにいることで、支え合いができ、また自分の育った土地への恩返しもできます。子供の頃や学生時代には発見できなかったカフェや飲食店などの地元の魅力を見つけられるという点も地域で働くことの魅力だと思いました！

～頼れる人がいる～
ストレスフリーな三八ライフ

「達成感と働きがい」

鳩さんは髙橋製作所の工場で働いている唯一の女性です。巨大な製品を作り上げる達成感や働きがいが感じられる魅力的な職場だと思っているそうです。また、辛いことや困った事があったとき頼れる人が近くにいることが魅力だと感じているそうです。さらに、自分が苦労して作ったものが地元の鉱業を支えているという気持ちになることができることも魅力の一つだそうです。

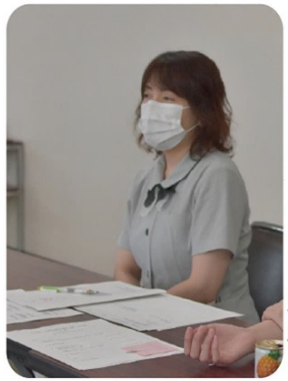
「地元で働く事への思い」

東京で 18 年間働いていた田中大志さんは、実家や家族がそばにいることで、仕事以外のストレスが少ないことが魅力だと感じているそうです。しかし、大人たちの地元で働いて欲しいという思いと、若者の地元で働きたいという思いの繋がりが薄いことが課題だとおっしゃっていました。事業を通して、地元には都会とは違った魅力がたくさんあることがわかったので、繋がっていけばいいなと思います。

髙橋製作所
鳩さん

髙橋製作所
田中さん

八戸港湾運送
駒場さん



八戸港湾運送
庭田さん

「働くオンナの仕事内容」

駒場さんは休みの日、愛犬と一緒に遊んだり、仲の良い女性社員さんと温泉に行ったり、趣味の釣りをしたりして有意義に過ごしています。八戸港湾運送株式会社さんでは、女性は船の報告書や、請求書の作成など事務を担っています。重労働ではなく、一つ一つは小さいような仕事でもかなり重要で、責任感が感じられる役割だとわかりました。

「地元に就職する利点」

地元で働くことには、たくさんのメリットがあります。都市とは違い職場と自宅の距離が離れていないため親孝行しやすく、万が一の時の心配も軽減されます。これは、ペットなどでも同様に言えます。交通手段を公共交通機関に頼りすぎていないからこそ、通勤にかかるお金があまりかからなくて済むのも利点だそうです。

engineer’ s lifestyle

「姉弟経営」

橘機工の平野さんは、とても明るく職員みんなの優しいお母さんのようでした。社長と平野さんは姉弟で、親から受け継いだ製材機械メンテナンス業を今の航空機部品を製造する橘機工まで育てあげました。弟の夢を叶える優しい姉心を感じました。また社内の壁が白で統一されており、清潔感があって工業のイメージとのギャップに驚きました。快適な職場にしたいと橘機工の平野さんは語ります。

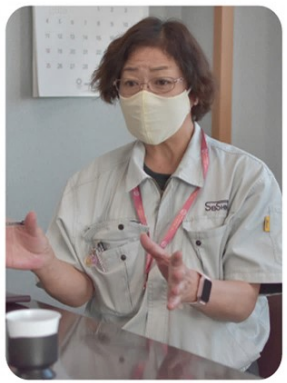
「地元愛」

私達が取材をした佐藤さんは生まれてからずっと八戸で暮らしてきました。中学生のときに最先端のパソコンに感動し、ものづくりに興味をもち高専に入学したそうです。自分は周りの人達にとても恵まれていると何度もおっしゃっていました。「今でも、ものづくりに携わっている事は子供に誇れることです」とおっしゃっていた佐藤さんの嬉しそうな表情が印象的でした。

橘機工
平野さんと

セイシンハイテック
品質保証部
佐藤さん

東北三吉工業
境さん



セイシンハイテック
小島さん

「女性の働く現場」

工業というと男の方をイメージしがちですが、三吉工業さんでは、女性の方も積極的に工業現場に参加していました。その姿はとても新鮮で、女性の新しい時代を作る可能性の夢を感じました。私たち女性目線から見ても、とても働きやすい現場で、楽しい雰囲気がとても伝わる温かい現場でした。これからも女性が活躍できるといいなと思いました。

「会社内外の交流会」

セイシンハイテックでは社員の仲を深めるために、交流会をしています。新年会や忘年会に加え、納涼祭でバーベキューもしているそうです。現在のコロナ禍では会などを開くのは難しいそうですが、これらの交流会は社員同士の協力に繋がっているそうです。また、以前は、業種の全く違いくつかの会社とソフトボール大会もおこなっていました。

食から始まる三八への愛

「ブランド化で感じた三八のあたたかさ」

市川さんは、地元の人はあたたかく、地元愛の強い人が多いと感じたそうです。それは、鞠姫牛をブランド化する時に多くの人が後押ししてくれ、応援してくれたからだそうです。また、「鞠姫牛を食べたよ」「美味しかった」と言ってもらえることが嬉しいそうです。お祝いのときなど特別な時に食べるものとして選んでもらえるように意識しているとわかりました。

「3 代続く熱い思い」

初代である金山さんのお爺様が静岡から持ってきたという削り節の技術は、更なる発展を遂げて受け継がれています。また、世間の価値観の変化に合わせ様々な新商品を開発するなど、本物の出汁の旨味を知ってもらうために努力を続ける姿にはとても圧倒され、勉強になりました。上京して八戸の出汁に出会えることを楽しみにしています。

イチカワファーム
市川さん

静岡屋
金山さん

静岡屋
金山さん

八食センター
販売促進課
村上さん

「家庭に広がれ出汁 !!」

忙しい現代人は今日、食品添加物に頼らない『本物のだし』に触れる機会がほとんどありません。そこで静岡屋では、だしの魅力を発信するため本物の素材と地元のものを使った無添加商品を多数取り揃えています。「手にとりやすく時短もできるだし商品は、近年青森で注目されている減塩にも効果的」と金山さんはおっしゃいます。私もだしを使った料理に挑戦していきたいです。

「自分の意見がカタチになる難しさと喜び」

村上さんは高校卒業後、八食センターに就職して 3 年目になるそうです。自分の理想を形にするために、多くの人と協力し、その意見が通った時にやりがいを感じるそうです。しかし、お客さまからの声を上手く反映しきれない部分があったり、イベントの失敗もあったりすると聞いて、地域のために働くことの苦労がわかりました。

「いつも楽しい場を提供、笑顔の接客」

八食センターの売り場の皆さんは、商品を買ってくれたお客さんの笑顔を見ること、県外のお客さんとお話できること、四季それぞれの商品を売れることが嬉しいそうです。また、「美味しかったよ」「また来たよ」と言ってもらえることがやりがいだとおっしゃっていました。商品を通して地域の魅力を発信できることが素敵だなと思いました。

「高校生活と今の仕事」

高校では生物に興味を持ち、弘前大学に進学、現在は技師を務める油川さん。油川さんの日々の主な業務は、作物の生育調査や農作業進捗調査、栽培技術指導などやりがいの大きいもので、学生生活に剣道で培われた体力面に支えられている。日々の高校生活が思わぬところで生かされていると感じました。

八食センター
福真
二子さん

三八地域県民局
地域農林水産部
油川さん

イチカワファーム
市川さん

三八地域県民局
地域農林水産部
油川さん

「牛を育てることの大変さ」

市川さんは、元々東京で牛の飼育ではない仕事をしていました。しかし、結婚後に八戸の方が子育てしやすいという思いもあって八戸に戻って来たそうです。その後、二代目としてイチカワファームを継いだそうです。八戸と言ったら「八戸毬姫牛」と根付くことを目指していると聞いて、地域の活性化に貢献しているのだと感じました。

「過ごしやすさ」

温厚な油川さんは仕事がない日は種差海岸のドライブや読書をして過ごしている。津軽の出身で三八地域に住み始めてみて、畑や牧場の多さ、工業地帯の規模に驚いたそうだ。各地方ごとに全く異なる風土を味わえることは青森県の魅力の 1 つだろう。夏は涼しく冬は雪が少ない、暮らしやすい三八地域で県民局の仕事にやりがいを持っている。

目的

女子目線を活かして地域産業や地元暮らしなどの調査を行い、情報発信・共有をすることで、地域への人財定着と地域振興につなげることを目的としています。

活動内容

38 リアルスタイルリポーターがワークショップを通して取材や発信方法などのスキルを学び三八地域の産業や暮らし等について、調査（取材・インタビュー）を行いました。活動を通して自分たちで見つけた魅力をまとめ魅力共有会や e-book 制作を通して発信します。

Ⅰ 7/29(水) キックオフミーティング → Ⅱ 勉強会 → Ⅲ 調査活動 → Ⅳ 勉強会 → Ⅴ 調査活動 → Ⅵ ワークショップ → Ⅶ ワークショップ → Ⅷ 2/7(日) 魅力共有会

Ⅰ　キックオフミーティング

2020.7.29　会場：八戸まちなか広場「マチニワ」

プロジェクトのスタートにあたり、38 リアルスタイルリポーター、プロジェクトに賛同してくれた業界団体、企業が一堂に会し、事業概要の説明や取材体験を行ない、プロジェクトのゴールの共有と参加者の交流を図りました。

Ⅱ　調査活動スキルアップ勉強会

2020.7.31　会場：長根屋内スケート場 YS アリーナ八戸

調査活動をスムーズに進めるためのスキルを学ぶワークショップを行いました。

業界を知るための調査活動①に向けて、編集のポイントや質問内容の検討、調査活動における役割分担、また実際に撮影をしてみるなど写真撮影のコツも学びました。

Ⅲ　調査活動①　業界を知る

2020.8.3 ～ 8.4

いよいよ 1 回目の調査活動がスタート。
まずは、三八地域の業界を知るために、グループ毎に分かれて調査に伺いました。

調査活動を終えて、38 リアルスタイルリポーターからは
「今まで知らなかった企業の役割や重要性を知ることができた」
「馴染みのない分野の仕事だったので、学ぶことがたくさんあった」
という感想が聞かれ、有意義な調査活動になったようです。
忙しい中にも関わらず、38 リアルスタイルリポーターを温かく迎えて対応してくださった業界団体の皆さん、ありがとうございました。

Ⅳ　調査内容ブラッシュアップ勉強会

2020.8.18　会場：長根屋内スケート場 YS アリーナ八戸

業界を知るための調査活動①を振り返り、調査活動②に向けて準備を整えました。
調査活動②（企業・暮らしを知る）に向けて、グループからあがった課題について、全員で共有した後、
講師からのアドバイスを受け、みんなで意見やアイディアを出し合いました。

Ⅴ　調査活動②　企業・暮らしを知る

2020.10.2 ～ 10.3

調査活動①で調査した業界団体に加盟またはつながりのある企業と
そこで働く社員の働き方や暮らし方について取材をしました。

調査活動を終えた生徒学生からは、
「三八地域の企業は、地域の行事にも積極的に参加していて、いろいろなところで貢献しているということ」
「交通の便、気候などの条件が良く、暮らしやすいということ」
「地元には身近に頼れる人が多く、困った時に助け合えること」
などがわかったとの感想が聞かれ、改めて地元の良さを感じることができました。

Ⅵ　魅力発信ツール作成ワークショップ

2020.11.21　会場：八戸ポータルミュージアム はっち

調査活動を通して、自分たちでみつけた魅力をまとめる魅力発信ツール e-book の作成ワークショップを
行いました。1 回目の業界団体、2 回目の企業・暮らしの調査をふまえて、いよいよ調査活動の成果をま
とめる作業です。

ワークショップでは、調査活動①と②をふまえ、生徒学生が作成した原稿をレイアウトしたページを見な
がらグループ毎に、掲載する写真を選定し、その上で、レイアウトや見出しなど全体のデザインについて
検討しました。生徒学生にとって、初めての体験で、わからないところは積極的に質問しながら、真剣に
取り組んでいました。

Ⅶ　魅力共有会ワークショップ

2020.12.5　会場：八戸ポータルミュージアム はっち

魅力発信ツールの最終仕上げと魅力共有会イベントでの発表内容の検討を行いました。

業界団体や企業、そしてこの地域の暮らしやすさなどについての三八地域の魅力を言語化する作業に熱が入
ります。魅力をキーワードにして付箋に記入し張り付けることによって、頭の中が整理されていきました。
そして、同じ方法で魅力発信ツールのタイトル案についても意見を出し合いました。
その後、業界の地域における意義・目的、また企業のミッションや理念についての説明をし、
魅力共有会ではどのように発表すればよいか「魅力発表シート」を用いてグループ毎に話し合いました。

Ⅷ　魅力共有会

2021.2.7　会場：八戸ポータルミュージアム はっち

プロジェクトの成果報告として、これまでリポーターが調査しまとめた魅力を発表する「魅力共有会」を開催しました。
佐々木 愛斗さんと鈴木 結菜さんによる司会で開会しました。

第一部　38 リアルスタイルリポーターによる活動成果発表

調査活動でまとめた「業界や企業」「地域の暮らしやすさ」 などの三八地域の魅力を、調査活動時の写真とともにグループ毎に発表しました。
その中から、地域で働きながら暮らすことについて感じた三八地域の魅力を紹介します。

この地域で働き、暮らす人たち自身が、暮らしやすさを考えながら仕事をしたり、様々な取り組みを行っていることです。

人の温かさと海や山などの自然を生かして採れた食材。「人」と「食」、これが、私たちを惹きつける魅力なのだと思います。

働いている女性が一人だとしても、配慮を欠かさなかったり、趣味を楽しむ十分な時間を確保できるような環境づくりをしていることです。

地域ならではの人とのつながりや新鮮な食材を生かした事業を、地域の人と共につくりあげていけるところです。

暮らしやすさ、働きやすさなどの環境の快適さ、人の優しさによる居心地の良さだと思います。

自然が豊かで食べ物がおいしく、あたたかい人がたくさんあふれている、ということと、働きやすい環境が意外と身近にあることです。

魅力共有会にご出席いただいた方々からご講評をいただきました。

＜協同組合　八戸総合卸センター　田湯さん＞
よく調査していただき、うまくまとめていた。地域との関連、そこで働く方の人柄、「地域ってこんなに素晴らしいんだ」という掘り下げ方が非常によかったです。それぞれの企業の特徴をつかまえて発表されていました。

＜八戸商工会議所　青年部　向井さん＞
普段慣れている生活、食べ慣れている食べ物等に改めて、三八地域の魅力だと気付いていらっしゃって良かったと思います。この経験を生かしてこれからの就活、また三八地域の魅力をみんなに広めて行く活動を続けていただければなと思いました。

＜三八地域県民局　地域連携部　久保さん＞
様々な分野をポイントをしぼって取材していただき、いろいろな視点から三八地域県民局の仕事について説明していただきました。発表していただいたように、土木、児童相談所、農林水産とそれぞれの分野の横の連携を深めて、よりよい地域を作っていくことが大事だと思っています。

＜八戸鉄工団地協同組合　柳町さん＞
八戸は工業地帯と言われていても来る機会がなく、鉄工といえば建物の骨組みを思い浮かべるが、八戸はそうではないので、八戸の鉄工業について知ってもらえてよかった。鉄工業界を取り上げていただきありがとうございました。

開会の挨拶　＜三八地域県民局＞
若い世代の地元定着、県内での活躍できる環境づくりなどの取り組みを踏まえて、活動の集大成として発表するみなさんへエールが送られました。

古屋敷裕大 LIVE（一部と二部の間）
この１年がんばってきたみなさんに歌のプレゼントもありました。ふるさとをテーマにした曲など３曲を熱唱。熱心に耳を傾けていました。

第二部　三八地域の魅力についてのトークセッション

UIJ ターンを経験し三八地域で働く方をゲストに迎え、現在の仕事にたどり着くまでの道のりや、仕事のやりがい、三八地域の魅力などをテーマにトークセッションを行いました。その中でゲストスピーカーのみなさんからリポーターのみなさんへ応援メッセージが送られました。

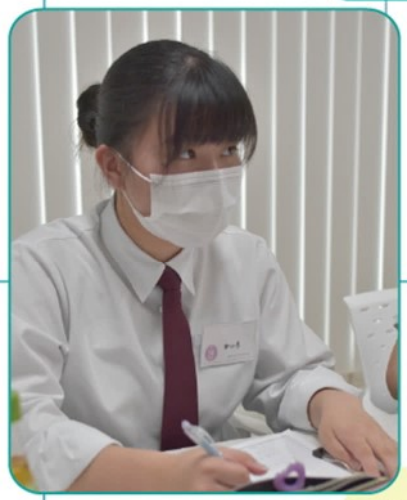
＜Apaman Network 株式会社 FC 事業本部八戸 BPO センター 篠原 くらら さん＞
育休産休のある会社で、２人目の妊娠の時にサポートを受け、仕事復帰の前に役職など手厚いアプローチをもらい復帰しました。また三八地域は、八戸三社大祭、八戸えんぶりなどの伝統行事にみんなで取組んでいるのが素敵だなと思いました。地元には安心できる育った場所があります。時には家族がいる三八地域に帰ってきて、深呼吸してください。今は気付けない地元の魅力に気付けると思います。応援しています。楽しんで頑張ってください。

＜株式会社イチカワファーム 取締役　市川 広也 さん＞
帰郷して、実家があるので心にも時間にもゆとりができました。人が温かくて学生も礼儀正しく地域の教育が行き届いていて温かい土地だと感じています。また頑張っている人をおせっかいなくらい全力で応援してくれる人がたくさんいます。そのためには自分も全力で取組まないとならないが、三八地域は、助けてくれる人や協力してくれる人がいる安心できる地域だと思います。将来みなさんと一緒に盛り上げていけたら素敵なことだなと思うので、みなさんもこれから頑張っていってください。

＜シンガーソングライター　古屋敷 裕大 さん＞
東京にいた時より、人との付き合いの濃さや繋がりを感じ、そこから仕事がうまれることもあります。また、車で少し行くと、身近に豊かな自然があって、自分だけのリセットできる場所があるのは幸せなことだと思います。住んでいる時は気付けなかった魅力。県外に一回出るのもいいし、地元にとどまって深く深くまちのこと人のことを知るのもいいですし、地域の良さに気付いた時に、まちのため、人のため、好きな人のため、自分の思った魅力を還元していったらいいなと思います。

何気なく毎日を過ごすのではなく
日々地域を深く知る為に行動し
得た魅力を多くの仲間や後世に伝えていきたい！

私たちが暮らす三八地域は
こんなにも活気あふれる素晴らしいまち



38
Real Style Project

令和２年度　女子力を活用した「三八の就域モデル」構築支援事業
青森県三八地域県民局 地域連携部